【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】

都道府県名	熊本県

Ⅰ　学校の概要（平成１５年４月現在）

学校名	熊本県阿蘇郡阿蘇町立阿蘇北中学校					
学　年	１　年	２　年	３　年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	1	１３	２７
生徒数	１２４	１２３	１２３	2	３７２	

Ⅱ　研究の概要

１．研究主題

基礎･基本を確実に身につけるとともに，自ら学び自ら考える力をもった生徒の育成
～個に応じたきめ細かな指導の確実な実践を通して～

２．研究内容と方法

（1）　実施学年・教科

全学年・全教科全領域（教員一人一人の研究とするため）

（2）　年次ごとの計画

平成14年度

○テーマ　　基礎・基本の徹底と，自ら学び考える力を育む授業の創造
～子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を目指して～

○仮説

【仮説１】　各教科の授業において，基礎的基本的事項を明確化した展開を工夫し，個に応じたきめ細かな指導に努めれば，「確かな学力」を保障することができるであろう。

【仮説２】　各教科やワールドタイム等において，生徒一人一人の思いや願いを大切にして，体験的・問題解決的学習等の場を保障すれば，自ら学び考える力を育み，さらには「生きる力」を育成することができるであろう。

○研究内容・方法

①基礎的基本的事項を重視した授業の展開（単元テスト，ドリル学習）
②目標の明確化及び目標達成のための到達基準の設定
③能動型学習の展開（体験的・問題解決的な学習）
④指導と評価の一体化を目指した授業の工夫（個人カルテ，生徒の授業評価）
⑤体験学習や教育機器の活用（ゲストティーチャーやコンピュータの活用）
⑥個に応じた指導の工夫（ＴＴ授業，選択教科，各種検定の実施）
⑦朝自習の工夫（読書，ドリル）
⑧家庭学習の習慣化（日記，自学ノートの継続的な指導）
⑨「ワールドタイム（総合的な学習）」の展開の工夫と充実
⑩学習成果発表会に向けての取り組み

平成15年度

○テーマ　　基礎･基本を確実に身につけるとともに，
自ら学び自ら考える力をもった生徒の育成
～個に応じたきめ細かな指導の確実な実践を通して～

○　研究の仮説

【仮説１】　「*1学習指導の４本柱」を意識した授業を展開する中で，個に応じたきめ細かな指導に努めれば，基礎・基本を確実に身につけ，自ら学び自ら考える力をもった生徒を育成することができるであろう。

【仮説２】　生徒の学力に関する実態を分析した上で，学校教育活動全般において，潤いのある学習環境を整備し，読書活動の推進や家庭学習の習慣化等に努めれば，生徒の学習に対する意欲が高まり，生徒の*2基礎学力も向上し，自ら学び自ら考える力をもった生徒の育成につなげることができるであろう。

*1学習指導の４本柱…本校独自の授業づくりにおける視点　　*2基礎学力＝読み･書き･計算

○　研究の内容・方法
①「学習指導の４本柱」を意識した授業づくり
（㋐目標の明確化，㋑思考する場の設定，㋒ドリルの時間の確保，㋓評価活動の工夫）
②指導形態の工夫・改善（ティームティーチングや少人数授業の実施）
③個に応じた学習プログラムの研究（指導の個別化，学習の個性化）
④選択教科における発展的な学習・補充的な学習の実施
⑤創意等を活用しての補充の時間の確保（数学:納得タイム，英語:定着タイム）
⑥朝自習等における読書運動の推進
⑦家庭学習の習慣化及び家庭との連携
⑧学習三原則の徹底（１分前着席･黙想をしよう，積極的に意見を言おう，目標を持って学習に取り組もう）
⑨潤いのある学習環境づくり（教室，廊下，校庭等）の工夫

平成16年度

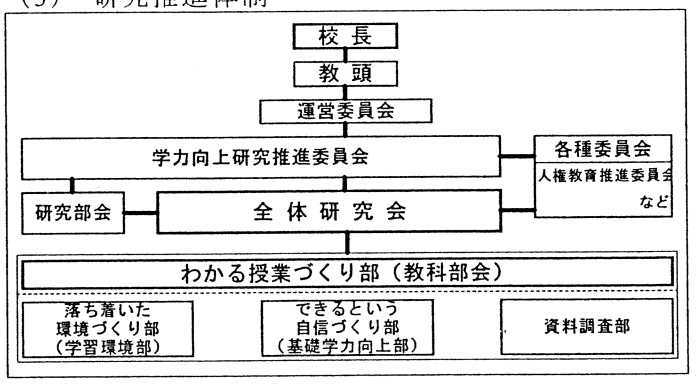
○テーマ　　基礎･基本を確実に身につけるとともに，自ら学び自ら考える力をもった生徒の育成
～個に応じたきめ細かな指導の確実な実践を通して～

○　研究の仮説
【仮説１】　「*1学習指導の４本柱」を意識した授業を展開する中で，個に応じたきめ細かな指導に努めれば，基礎・基本を確実に身につけ，自ら学び自ら考える力をもった生徒を育成することができるであろう。
【仮説２】　生徒の学力に関する実態を分析した上で，学校教育活動全般において，潤いのある学習環境を整備し，読書活動の推進や家庭学習の習慣化等に努めれば，生徒の学習に対する意欲が高まり，生徒の*2基礎学力も向上し，自ら学び自ら考える力をもった生徒の育成につなげることができるであろう。

*1学習指導の４本柱…本校独自の授業づくりにおける視点　　*2基礎学力＝読み･書き･計算

○　研究の内容・方法
①指導形態の工夫・改善（ティームティーチングや少人数授業の実施）
②個に応じた学習プログラムの研究（指導の個別化，学習の個性化）
③選択教科における発展的な学習・補充的な学習の実施
④創意等を活用しての補充の時間の確保（数学:納得タイム，英語:定着タイム）
⑤家庭学習の習慣化及び家庭との連携
⑥潤いのある学習環境づくり（教室，廊下，校庭等）の工夫

（3）　研究推進体制



・運営委員会（校長･教頭･教務主任･学年主任）…毎日，職員朝会前に
・学力向上推進委員会（運営委員＋研究主任）
・研究部会（研究主任，各研究部部長）
・教科部会…９教科，道徳，特活，総合
・学習環境部…生徒会活動の活性化，潤いのある学習環境づくり
・基礎学力向上部…家庭学習,読書運動の推進，補充の時間のすすめ方
・資料調査部…アンケート，記録

Ⅲ　平成１５年度の研究の成果及び今後の課題

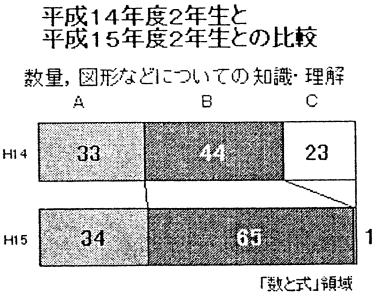
１．研究の成果

本研究が始まってから研究授業が増えたことが挙げられる。一昨年度までは年間３回だけだったが，２年間で約 20 回の研究授業を積み重ねてきた。今までの３倍前後に増加したことになる。その研究授業の積み重ねが，教職員の学習指導や教材研究に対する意識を高め，研究の方向性も見えてきた。特に，「学習指導の４本柱」を意識した授業づくりに取り組むことにより，教材分析，系統分析，目標分析を綿密に行って授業に臨もうとする意識が向上し，生徒にとってもわかりやすい授業になりつつあると言えるだろう。

また，評価については「個人カルテ」を作成したことにより，課題はまだまだあるものの，説明責任を十分に果たす準備ができたことは大きな成果だと言える。

本年度から数学科において少人数授業（習熟度別指導）を実施することとなった。日々の授業実践，研究授業，講演等を通して，習熟度別指導とは何か，個に応じたきめ細かな指導

とは何かが少しずつ本校教職員一人一人のものになりつつある。生徒も，少人数授業を行っている２年生数学について「勉強の内容がよくわかるか」という設問に対して，「よくわかる」「どちらかといえばよくわかる」と回答した生徒が 80 %を越えている。保護者からも「数学がよく理解できるようになり楽しそうに話をしてくれてうれしい」という声が聞かれ，少人数授業の効果が見られるようになってきた。さらに，昨年度一斉授業を行っていた２年生と，本年度少人数授業を行っている２年生の数学の同じ単元で比較すると（右図），のようにＡまたはＢ評価の生徒が大幅に増えた。少人数授業に取り組み，明らかに数学の学力が向上していると言える。



日常的な指導では，朝読書等の読書運動により１か月に２，３冊の本を読む生徒が全体の約半数を占めるようになり，本校生徒の読書量平均（2.9 冊）は全国平均（2.8 冊，平成 15 年度学校読書調査）をやや上回る結果となった。

２．今後の課題

各教科における「自ら学び自ら考える力」とはどんな力か，またその力はどのような場面で評価できるのかということをもう一度見直したい。そこから，総合的な学習の時間や選択教科の在り方についても研究が深まっていくと思われる。

そして，研究当初からの本校職員室での合い言葉となっている「子どもに還元される研究にしよう」という点から言えば，実際に生徒の学力が向上しなければ意味がない。本年度は研究の中間年度であり，まだまだ十分な取組とは言えない状況であり，成果が見られない部分も多い。今後生徒一人一人の確かな学力の向上のため，さらなる研究を推進していきたい。

Ⅳ　学力把握のための学校としての取組

・定期的な学力調査の実施（標準学力テスト等）
・熊本県教育委員会作成の評価問題「ゆうチャレンジ」「まいチャレンジ」の実施
・「生徒による授業評価」（学期に１回），「学習・生活のアンケート」の実施（年２回）
・各種検定の実施（英検，漢検，数検，歴検，理検）

Ⅴ　フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・「学力向上フロンティア事業」中間発表会の実施
　第１回：平成 14 年 12 月 3 日(火)
　第２回：平成 15 年 11 月 20 日(木)　（兼，阿蘇郡学力向上推進地域指定研究発表会）
　対　象：阿蘇郡内小・中学校教職員対象
・「学力向上フロンティア事業」研究発表会の実施予定　平成 16 年秋，本校にて
・本校で作成した評価算出用表計算ファイル（個人カルテ，通知表の作成）を配布
　（本校のメールアドレス　asokita@aso.ne.jp）
・リーフレット，研究紀要の作成
・フロンティアティーチャーとして郡研究主任研修会で実践発表（平成 15 年 6 月 10 日）
・いくつかの学校や団体が研究視察として来校

◇　次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】　☐ １５年度からの新規校　☑ １４年度からの継続校

【学校規模】　☐ ３学級以下　☐ ４～６学級
☐ ７～９学級　☐ １０～１２学級
☑ １３～１５学級　☐ １６学級以上

【指導体制】　☑ 少人数指導　☑ Ｔ．Ｔによる指導
☐ その他

【研究教科】　☑ 国語　☑ 社会　☑ 数学　☑ 理科
☑ 外国語　☑ 音楽　☑ 美術　☑ 技術・家庭
☑ 保健体育　☑ その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】　☑ 有　☐ 無